

広報 しんち

11月1日現在 ()内は前月比	
↑	2,082世帯 (-2)
♂	男 4,388人 (±0)
♀	女 4,577人 (-1)
	合計 8,965人 (-1)

198号
62/12



文化の町づくり

たくさんの作品と
多彩なプログラム

新地町文化祭が、文化の町づくりを進める新地町文化協会の主催で、十一月八日、新地小学校を会場に開催されました。

盆栽、短歌、書道、俳句、生花、手芸、菊花、陶芸などの展示の部には、文化協会会員の作品のほか、保育所、小学校、新地高校の子供たちや老人クラブのみごとな作品がたくさん展示され、即席の茶室は華いだ雰囲気に包まれていました。

また、芸能の部では、舞踊、民謡、カラオケのほか、バンド演奏、お母さんコーラス、エアロビクスなど多彩なプログラムが生まれ、若い人たちからお年寄りまで、にぎやかな文化の祭典を楽しみました。

ご功績をたたえて

昭和六十二年度 町功労者表彰式

町では、毎年町政の進展と公共の福祉に貢献のあった方々を表彰しています。
今年の表彰式は、十一月三日役場議場で、自治や教育文化などに功労のあった六名を表彰しました。
受章された皆さんおめでとうございます。



▲ 町長を囲んで喜びの受章者の皆さん

表彰者

自治 功 勞

石田 正蔵氏(小川・67歳)
四期十二年にわたり農業委員会委員として活躍し、この間会長職務代理者の要職を務めるとともに、多年行政区長として尽力されました。
また、現在も、民間交通指導員、防犯協会新地支部副会

野地 夫人	遠藤 夫人	加藤 實	荒 健悟	中江 章	中江 夫人	石田 夫人
遠藤 紀一	野地 紀一	遠藤 傳	町 長	議 長	石田 正蔵	石田 正蔵

(敬称略)

長として活躍しており、地方自治の発展に寄与されました。
教育文化功勞

野地 紀一(新地町名誉町民)

(横浜市・79歳)
教育振興のため、多額の金品を寄付し、町の教育文化の発展に寄与されました。
遠藤 傳氏(新地町・75歳)
多年にわたり新地小・中学校の教員・校長を歴任し、特に両校の校歌を作曲するなど音楽活動に意を尽くし、芸術文化活動に尽力されました。
また、現在も新地町文化協会会長として活躍しており、教育文化の発展に寄与されました。

社会福祉功勞

加藤 ヒサ氏(下真弓・70歳)

多年にわたり保健補導員として町民の衛生思想の普及啓蒙に努めるとともに、母子健康センターの助産婦として保健医療に寄与されました。

防災 功 勞

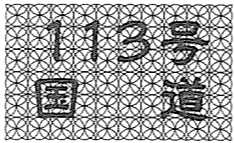
荒 健悟氏(釣師・56歳)

昭和三十二年二月新地町消防団に入団以来、三十年間防火思想の啓蒙に努めるとともに

に、訓練部長として団員の指導育成と消防団の発展に寄与されました。
中江 章氏(釣師・55歳)
昭和三十二年二月新地町消防団に入団以来、三十年間防火思想の啓蒙に努めるとともに、分団長として団長を補佐し、団員の指導育成と消防団の発展に寄与されました。

感謝状贈呈

町功労者の表彰に続き、町に多額の金品を寄付された次の方々にも感謝状を贈りました。(敬称略)
あぶくま信用金庫
目黒庄一(釣師)
目黒徹男(大阪市)
目黒禮子(中里)
太田智明(上真弓)
かめや工機(亀谷護(原町市))
森 幹市(菅谷)
八巻定男(菅谷)
藤乃流家元藤乃豊繁(相馬市)
村井 保(釣師)
目黒清房(小川)
阿部恒清(駒ヶ嶺町)
横尾富男(中島)
新地漁業協同組合青年部



相馬バイパス工事始まる

相馬開発に弾み

相馬中核工業団地の物流幹線道路となる国道113号相馬バイパスの着工式が、十一月六日、菅谷地区の建設予定地で行われました。
国道113号は、相馬市や新



▲ 安全を祈りクワ入れする荒町長ら

地町をはじめとする福島県の浜通り地方と、宮城・山形両県の南部を結び、4号国道と東北自動車道に接続する肋骨道路で、特に、相馬地域総合開発では、欠くことのできない重要な道路です。

相馬バイパスは、菅谷地区の113号国道から、相馬市との境界線を通り、6号国道と交差して相馬港に至る四・四キロメートル。将来は片側二車線にする計画ですが、工事は片側一車線で進められ、昭和六十四年度末までに6号国道までの二・四キロメートルが完成する予定です。

着工式には、地権者や工事関係者など約二百人が出席して行われ、荒町長、今野相馬市長らがクワ入れし、工事の安全と早期完成を祈りました。
相馬バイパスの着工で、相馬地域総合開発が、また一歩前進しました。

選挙管理委員会の 委員が決まりました

委員長に 鈴木研一氏

任期満了に伴う、選挙管理委員会委員の改選が行われ、次の方々が新しい選挙管理委員に選ばれました。また、委員の互選により委員長に鈴木研一氏、職務代理者に太田要蔵氏がそれぞれ決まりました。
選挙管理委員会委員(敬称略)
委員長 鈴木研一(駒ヶ嶺町)

補充員

- 1 荒 安(中里)
- 2 佐久間清安(菅谷)
- 3 加藤 清一(大戸浜)
- 4 小野 幸記(新地町)

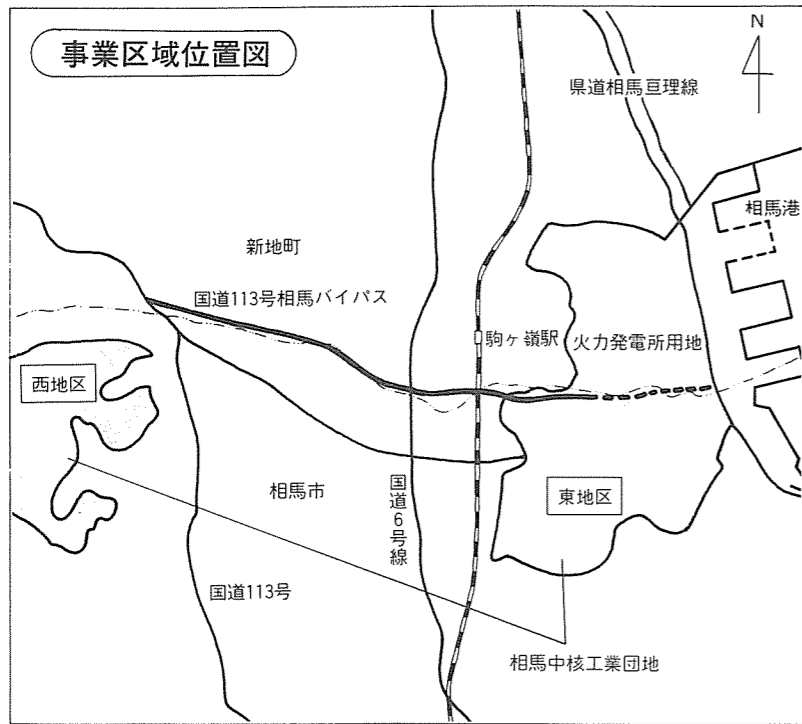


▲ 岡田さんより寄付を受ける荒町長

(一)寄付ありがとうございました

- 教育振興基金へ
 - ・ 故岡田四郎さん(岡)のご遺志により岡田庄治さんより 百万円
- 飯土井鶴吉さん(今千)より 二十万円
- 社会福祉協議会へ
 - ・ 福島ヤクルト販売(俵原町営業所)より 一万六千二百円
 - ・ 平間甲一さん(城内)より 三万円
 - ・ 横尾富男さん(中島)より 十万円
 - ・ 新地漁協青年部より 十万円
 - ・ 新地町おどり会より 三万円
 - ・ 三地区婦人会より 三万円
 - ・ 二十一万三千四百十円
 - ・ 石田正蔵さん(小川)より 十万円
- 東北電力相馬営業所より防火灯五基(藤崎地区など)に取り付けられました。

事業区域位置図



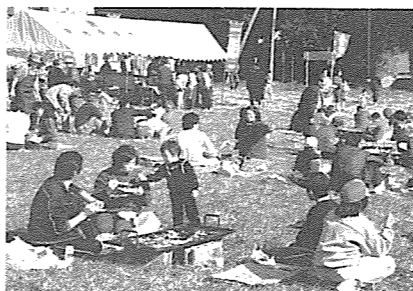
ふるさと産業まつり

地域の活性化とふるさと産物をほりおこす第三回ふるさと産業まつりが、十一月二十二日と二十三日の二日間にわたって開催されました。

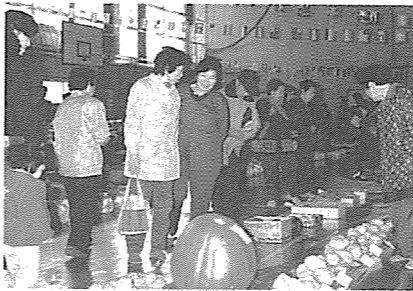
会場の公民館グラウンドと新地小学校には、農協、漁協、商工会、朝市出店者会などが、それぞれのコーナーを設け、農産物、水産物、日用雑貨などを展示即売しました。



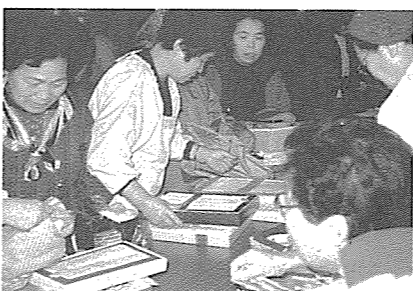
▲ 相馬地域開発の模型を囲んで (ふるさとおこし館)



▲ 家族連れに好評 (牛肉フェア'87)



▲ みごとな農産物がズラリ (農産物品評会)



▲ 売上げ金は社会福祉協議会に寄付されました (婦人会チャリティーバザー)

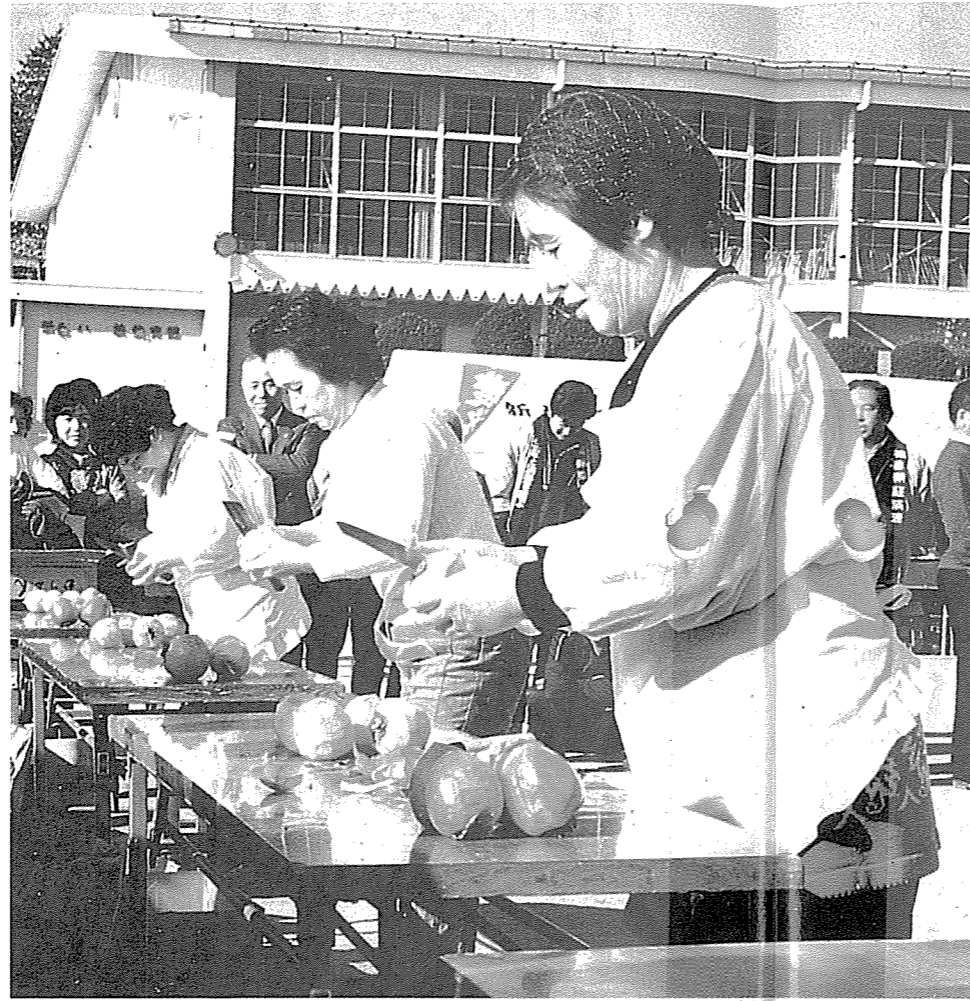


▲ サンマ、ホッキなどの即売で人気のあった漁協コーナー

好評だった 牛肉フェア'87
今年、町の畜産関係者などが、すこしでも畜産について知ってもらおうと牛肉フェア'87を開催しました。

農産物品評会
農業技術と生産意欲の向上を目的に、今年の農産物の出来具合を競いました。

主な入賞者は次のとおりです。
▽ 県知事賞 齋藤巖(鉄砲町) ▽ 農協組合長賞 早川孟(中世) ▽ 農協五連会長賞 早川孟(中世) ▽ 農青連委員長賞 小豆佐見昭(下真戸) ▽ 中央会相馬支所長賞 佐藤光中(世) ▽ 経済連相馬支所長賞 荒川清美(世) ▽ 共済連相馬支所長賞 キヤン 寺島常孝(城内) ▽ 信連相馬支所長賞 リンゴ 佐藤憲治(世) ▽ 仙台青果(株)社長賞 フロッキー 加藤秀雄(世)



▲ いつもはもっと上手なんだけど……。 (柿の皮むき大会)



▲ 日頃のご愛顧に感謝をこめて (商工業館)

年末年始の交通事故防止 県民総ぐるみ運動

年末年始は、交通の混雑や早い日没、積雪・凍結など道路交通環境が悪化する一方、飲酒の機会が多くなります。

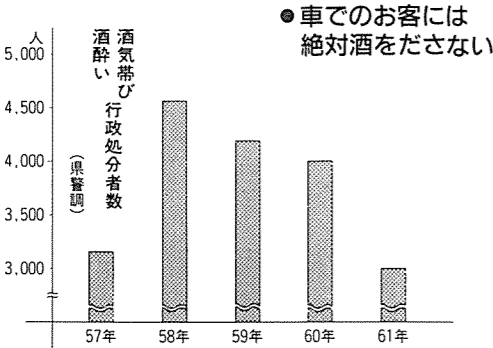
そこで、12月1日から来年の1月10日まで、年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動を展開します。

交通ルールと交通マナーを守り、交通事故をなくしましょう。

「安全はゆっくり ゆったり ゆとり ゆずりあい」

— スピードを落とせ この道凍結路 —

みんなで飲酒運転を 防止しよう



早朝・夜間は積雪 凍結路面となる

● 10分早目に ゆとりをもって 出発!!



昭和62年12月1日～ 昭和63年1月10日

●乳幼児健診の状況 (62年11月現在)

健診名	対象者	受診者	受診率 (%)
3 か月児	61	61	100.0
7・8か月児	52	48	92.3
1 才児	54	51	94.4
1才6か月	66	66	100.0
3 才児	81	80	98.8
計	314	308	98.1

新地町では、乳幼児の発育・発達等をチェックし、各月令に応じた保健指導を行うために、3か月児、7・8か月児、1才児、1才6か月児、3才児健診を実施しています。各健診の受診状況は、大変良く、左表に示す通りです。

しかし、健診を受けない子を見てみると、第2子や第3子が

健診は子供の成長記録



多く、7・8か月児健診を受けない子は、1才児健診もやはり受けないという場合が多いようです。健診は、子供の成長記録となり大切なものです。必ず受けましょう。

言葉のある環境



からみてみると、言葉の遅い子が増えたように感じます。お母さん達も気にかけているようですが、子供にも子供の言い分があるようです。

「ボクのママボクに何も話しかけてくれないんだ。ボクもつと

お母さん
いっしょに遊んで

言葉の遅い子の言い分

ママと話したいのにー。
「ワタシのママワタシが一生懸命話しかけているのに、ときどき知らん顔するの。話しているのだんだんイヤになっちゃう。ドキッとしたお母さんは、いませんか？」

赤ちゃんは、自然に言葉を覚えていくように見えますが、これは言葉のある環境にいるからです。母親は、話しかける機会を多くし、言葉は、わからなくても笑顔で語りかけてください。あまり言葉を発しない子は、お母さんがほとんど言葉をとってしまっていることもあります。一方通行にならないようにゆっくり話し、子供にも話させてみてください。

テレビ守りさせないで

おとなしい、手のからまない子供だからと赤ちゃんを寝かせてばかりいては、いけません。確かにほうっておいても赤ちゃんは大きくなりますが、情緒や運動機能の発達は、お母さんとお話したり遊びを通して得られるものです。よその子と比べて大きい小さい、できるできないと気にするより、どうぞ思いきり子供と遊んでください。テレビに子供はさせないで。

相馬消防署新地分署の

けがと病気の 応急手当

ひきつけ、けいれん

ひきつけ、けいれんの発作は、のどがはれたり、カゼをひいたり、熱を出している時に起るもので、ほとんどが「熱性けいれん」と呼ばれ、あまり心配しなくてもよい場合が多いものです。

ひきつけ、けいれんを起したときは、あわてないで次のような事を行ってください。ほとんど10～20分で治ります。

- 静かに寝かし、衣類をゆるめる。
- 体のけいれんが強い時は、軽くおさえる。
- 頭を少し低く横むきに寝かせる。
- 熱があれば、頭、首、わきの下などを冷やす。



厳禁 あわてて子供を抱きかかえて、体をゆすったり、大声で子供の名前を呼んだり、寒い外に飛び出したらして騒いではいけません。



生後5～6ヶ月以上の乳幼児が、突然体をそらせ、けいれんを起こすことがあります。今月は、カゼなどのために起こるひきつけ、けいれんの症状と手当の方法です。

相馬地域開発関連遺跡発掘調査

相馬地域開発に伴う発掘調査は、これまで武井地区の古墳時代末から平安時代に営まれた製鉄遺跡群、唐崎遺跡(今泉)の製塩遺跡など、たくさん興味深い発見が報告されています。

今回説明会が行われた、師山、双子遺跡からは、唐崎遺跡と同じ江戸から明治時代に営まれた入浜式製塩跡が数多く見つかったほか、遺物包含層の調査から七千年も前から海を相手にしていた人々がいたことがわかりました。説明会資料から概要をお知らせします。

「享保二年」の刻字



「享保二年」の刻字の拓本

師山・双子遺跡は、江戸から明治時代にかけて操業された入浜式塩田であることがわかりました。二つの遺跡からは、合わせて十一か所の釜屋と二百八十基の鹹水槽(濃い塩水をためる槽)が発見され、時期的変遷もとらえられつつあります。

特に、師山遺跡五十五号の鹹水槽の内壁から「享保二年(一七一七年)」の刻字がみつかり、塩作りの歴史を知るうえで、大きな発見となりました。

道具をそのまま発見

塩作りの行程は、まず満潮時に海水を溝へ取り入れ、塩田の砂に塩分を附着させます。(水分は太陽で蒸発させる)次に、塩の付着した砂を沼井という四角い木枠に入れ、その上から海水を注ぎ濃い塩水(鹹水)を作ります。そして、集めた鹹水を鹹



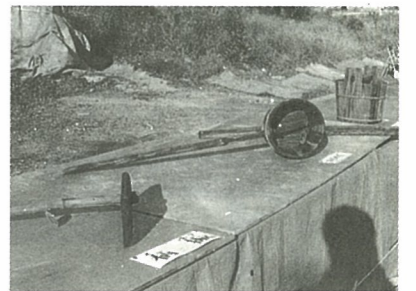
丸木舟発見周囲の想像図

丸木舟は、いずれも完全な形ではありませんが、長さ約五メートルと推定され、当時の渚に放置されたものが見つかったものと思われれます。

こうしたことから、ここは、断続的に約七千年も前から生活の場として盛んに利用されていたことが確認され、海を相手にしていた人々の様子が徐々に明らかになってきています。

縄文時代の丸木舟を発見

また、この地域は海抜ゼロメートル前後に位置していて、いつも海水に浸されて湿地のような状態にあったため、普通では残らない自然物が、腐らずにそのままパッケされていた。



製塩に使われた道具 (左から柄振、柄杓、桶)

師山遺跡の約四千五百年前の縄文時代中期前半の層からは、クルミやマツの実などが、双子遺跡からは、縄文後期の土器片とともに丸木舟二隻が発見され、大きな成果となりました。

交通事故のご相談は お気軽にどうぞ 無料でご相談に応じております



午前9時30分～午後4時40分(平日)
土曜日は正午まで
(第2・第3土曜日は休みます)
●専門の相談員が親身になってご相談に応じます
●弁護士相談日：毎週木曜日午後1時～4時

社団法人 日本損害保険協会

福島自動車保険請求相談センター

福島市栄町10-21 住友生命福島ビル5階
福島調査事務所内
☎(0245) 21-1295 (直通)
☎(0245) 23-3471

電話のご相談もお受けします



10/21~11/20
届出

▷出生(届出は14日以内に)
おめでとうございます。

(子供) (親) (地区)

真由美	宍戸	正男	大戸浜
篤志	目黒	和幸	小川
貴志	櫻井	清治	埴浜
由美	加藤	智正	岡
良太	阿部	恒夫	駒ヶ嶺町
綾香	八巻	正光	菅谷

▷死亡(届出は7日以内に)
おくりやみ申し上げます。

(死亡者) (年齢) (地区)

星 春治	77才	原相善
早坂 やいこ	75才	杉目
菅野 ツメ	75才	今泉
荒 フクヨ	93才	木崎
佐々木 實	78才	新地町
齋藤 春男	60才	木崎
荒 憲英	86才	新地町
桜井 芳太郎	80才	作田
渡邊 マツノ	83才	明地
松岡 政雄	77才	釣師
秋元 榮	59才	上ノ町

11月のもえないゴミ収集状況

もえないゴミは毎月15日~17日に収集しています。

収集日の朝8時30分まで、指定の場所にルールを守って出しましょう。

収集場所	完全収集	収集できないゴミ			収集場所	完全収集	収集できないゴミ			
		出しおくれ	記名なし	分別不良等			出しおくれ	記名なし	分別不良等	
15日収集地区	作田公会堂前	○			16日収集地区	富倉公会堂前	○			
	作田農協倉庫前	○				城内収集所	○			
	埴浜長塚智雄宅北側	○				駒ヶ嶺河原栄一宅前	○			
	釣師北畑水防倉庫前	○	3	10		上ノ町八巻克也宅北側	○			
	大戸浜公会堂入口	○				新町遠藤商店前	○			
	今泉公会堂西側	○				17日収集地区	沢口公会堂前	○		1
	今神収集所	○					明地火の見前	○		
	藤崎公会堂前	○					大山田バス停前	○		
	渡民渡部馨宅東側	○					上真弓水神十字路北側	○		
	中里荒勇四郎宅前	○					下真弓公会堂前	○		
16日収集地区	木崎火の見前	○			岡目集荷所北側	○				
	木崎公会堂前	○			杉谷公会堂前	○				
	町営住宅前	○			菅谷公会堂前	○				
	雇用促進住宅内	○			高田公会堂前	○				
	小川公会堂前	○								

(11月25日調べ)

休日当番医

(相馬市内)

- 12月
- 6日 大石医院 ☎353451
 - 13日 金子医院 ☎353202
 - 20日 井口医院 ☎362422
 - 27日 渡部内科 ☎367222
 - 31日 荒病院 ☎362732

- 63年1月
- 1日 金子医院 ☎353202
 - 2日 大石医院 ☎353451
 - 3日 井口医院 ☎362422

もえないゴミを 十二月は二回収集

十二月は、もえないゴミが大量に出されるため、下のように二回収集します。また、先にお知らせした通り十二月から一回に出せるゴミの量は、一戸五個まで(みか箱、肥料袋)に制限することになりました。

収集日の朝、八時三十分までルールを守って出しましょう。

〔12月は〕

- 毎月15日収集地区 → 10日(木)・24日(木)
- 毎月16日収集地区 → 11日(金)・25日(金)
- 毎月17日収集地区 → 12日(土)・26日(土)

今月の納税等

固定資産税 第四期
国民健康保険税 第五期
水道料 福田地区と岡、杉目地区

納期限は
12月28日です。
※忘れずに納めてください

20日	19日	18日	17日	16日	12日	10日	8日	6日	5日	4日	3日	1日	11月30日	28日	27日	26日	23日	22日	21日	10日		
岡地区戦没者慰霊祭	全国港湾中央大会	全国港湾協会理事会	相馬北部土地改良区理事會	臨時議會	民生児童委員會	の懇談會	町文化祭、尚英中文化祭	ス起工式	教育委員會秋季總會	地蔵川改修促進陳情	岡地区運動會	町民親善スポーツ大会	新地町おどり會発表會、	献血推進協議會	農村環境改善センター起工式、産業建設常任委員會、文教厚生常任委員會	土地改良区研修(29日まで)	相馬地域開發特別委員會	交通安全總ぐるみ大会	新地地区老人婦人のつどい、火葬場問題話し合い、	松ヶ房ダム工事促進打ち合せ、建設関係陳情	自治労県本部定期大会	總務常任委員會、新地町

町長日記
荒 和英